

運命なんか
認めない。

マイ・ダディ

TSUTAYA CREATORS' PROGRAM FILM 2016
準グランプリ受賞作品

ムロツヨシ

奈緒 毎熊克哉 中田乃愛
白田あさ美 徳井健太 永野宗典 光石研

監督：金井純一 脚本：及川真実 金井純一 音楽：岡出莉菜
主題歌：「それは愛なんだぜ!!」カーリングストーンズ (ドリ・ミュージック)

製作：中西一雄 有馬一昭 梶見貴彦 広田勝己 渡辺隼仁 加太孝明 プロデューサー：遠山太輔 村上公一 アソシエイトプロデューサー：小林麻実 ラインプロデューサー：和氣俊之 撮影：伊藤麻樹
照明：井上真香 美術：小坂健太郎 装飾：小林田央 録音：岩間真 編集：日下部元孝 衣裳：加藤優香利 ヘアメイク：飯干美紀 スクリプター：湯澤ゆき 助監督：吉田亮 制作担当：田村拓之
製作幹事：カルチュア・エンタテインメント 制作プロダクション：ROBOT 配給：イオンエンターテイメント
製作：「マイ・ダディ」製作委員会 (カルチュア・エンタテインメント イオンエンターテイメント ベンチャーバンクエンターテインメント 毎日新聞社 ローソンエンタテインメント ROBOT) ©2021「マイ・ダディ」製作委員会
mydaddy-movie.jp

9 (木・祝)
23

娘を救う唯一の方法は、本当の“父親”を探すことだった。





愛する娘を救いたい——。

その一心で走り続ける、ひとりの父親の切ないほどに必死な姿。

この家族の物語にあなたはきっと涙する。

主人公・一男を演じるのは、意外なことに本作が映画初主演となるムロツヨシ。コメディからシリアスまで硬軟自在の人気俳優にして、舞台「muro式」を自らプロデュースするなど多才ぶりを発揮するムロツヨシが、台本に出会って2時間後に「この世界にいたい。この人（一男）になりたい」と出演を即決。奇しくも今年もムロツヨシにとって、「役者人生25年目」のメモリアルイヤー。コロナ禍で一度は撮影延期を余儀なくされつつも無事完成した本作は、役者＝ムロツヨシの新たな魅力を惜しみなく引き出している。

ひかり役にはオーディションの中から選ばれた、新星・中田乃愛。撮影時は17歳で、本格的な演技は本作が初。いきなりの大役にして病を抱える少女という難役を、ムロツヨシを相手に一歩もひるむことなく堂々と演じ

切り、スクリーンに鮮烈な印象を残す。共演は奈緒、毎熊克哉、白田あさ美、徳井健太（平成ノブシコブシ）、永野宗典、光石研という実力派がズラリ。誰もが応援せずにはられない父娘を頼もしく支えている。

本作の監督は映像クリエイター支援プログラム「TSUTAYA CREATORS' PROGRAM」で2016年準グランプリを受賞した金井純一。2020年、あいみょんが製作したDISH//の楽曲「猫」をベースにした、ドラマ「猫」の監督・脚本を務めるなど着々と活動の幅を広げている新鋭が、ムロツヨシと待望の初タッグを組んだ。

映画主題歌はドリームバンド（カーリングストーンズ）の書き下ろし「それは愛なんだぜ!」に決定。6人が織り成すメロディーは愛に溢れ、必死に生きる主人公・一男を応援する楽曲に仕上がった。



STORY

御堂一男（ムロツヨシ）は、中学生の娘・ひかり（中田乃愛）と2人暮らし。最愛の妻・江津子（奈緒）は8年前に他界。一男は小さな教会の牧師をしながら、ガソリンスタンドでアルバイトに励みつつ、ひかりを男手ひとつで育てている。思春期に突入したひかりはちょっぴり反抗的な時もあるが、優しく面白いお父さんのことが大好き。牧師として多くの人に慕われ、たまに娘と些細な喧嘩をしながらも、2人の穏やかで幸せな日々は続いていく……と思っていた、ある日、突然ひかりが倒れてしまう。病院で下された診断は「白血病」。混乱し事実が受け入れられない一男だったが、担当医師からある衝撃的な事実を告げられる。なんと、愛する娘は、自分の実の子ではなかった。ひかりに適合するドナーは「数百万人に一人」という残酷な現実が一男をうちのめすが、「血縁者は適合率が上がる」という事実気付いた一男は、ある思い切った行動に出る……。



9/23 (木祝) ロードショー

数量限定
特製チケットホルダー付 前売り券
¥1,500 (税込) 好評発売中! (※一部劇場除く)
※特典は劇場限定 ※特典は前売り券1枚につき1つ ※なくなり次第終了
公式Twitter: @mydaddy_movie / 公式Instagram: @mydaddy_movie #映画マイダディ



BACK